

2026年3月期 第2四半期 (2025年度 中間期) 決算ハイライト



埼玉りそな銀行

2025年11月11日

2026年3月期中間期 決算の概要

- 中間純利益：240億円 前同比+43億円 (+21.7%)
 - 3期連続増益、通期目標*1比進捗率 62.5%
- コア業務純益*2：310億円 前同比+84億円 (+37.4%)
 - 業務粗利益：733億円 前同比+121億円 (+19.9%)

円金利上昇に伴う資金利益の増加を主因に3期連続増収
上半期業務粗利益700億円超は10期ぶりの水準

 - 国内預貸金利益*3：前同比△15億円

貸出金平残：同△0.5% (政府等向け貸出除き：同+2.2%)

預金平残*3：同+1.4%

預貸金利回り差：同+11bps

預貸金利回り差は反転上昇
 - フィー収益：前同比△14億円
 - 債券関係損益(先物込)：前同比+19億円
 - 経費：△420億円 前同比△16億円(費用増加)

経費率は7期ぶりに50%台へ改善
- 株式等関係損益(先物込)：22億円 前同比△63億円

前年の大口売却益の反動により減益
- 与信費用：13億円 前同比+21億円

経営改善支援の取組みが奏功

不良債権比率は低位推移：1.05%

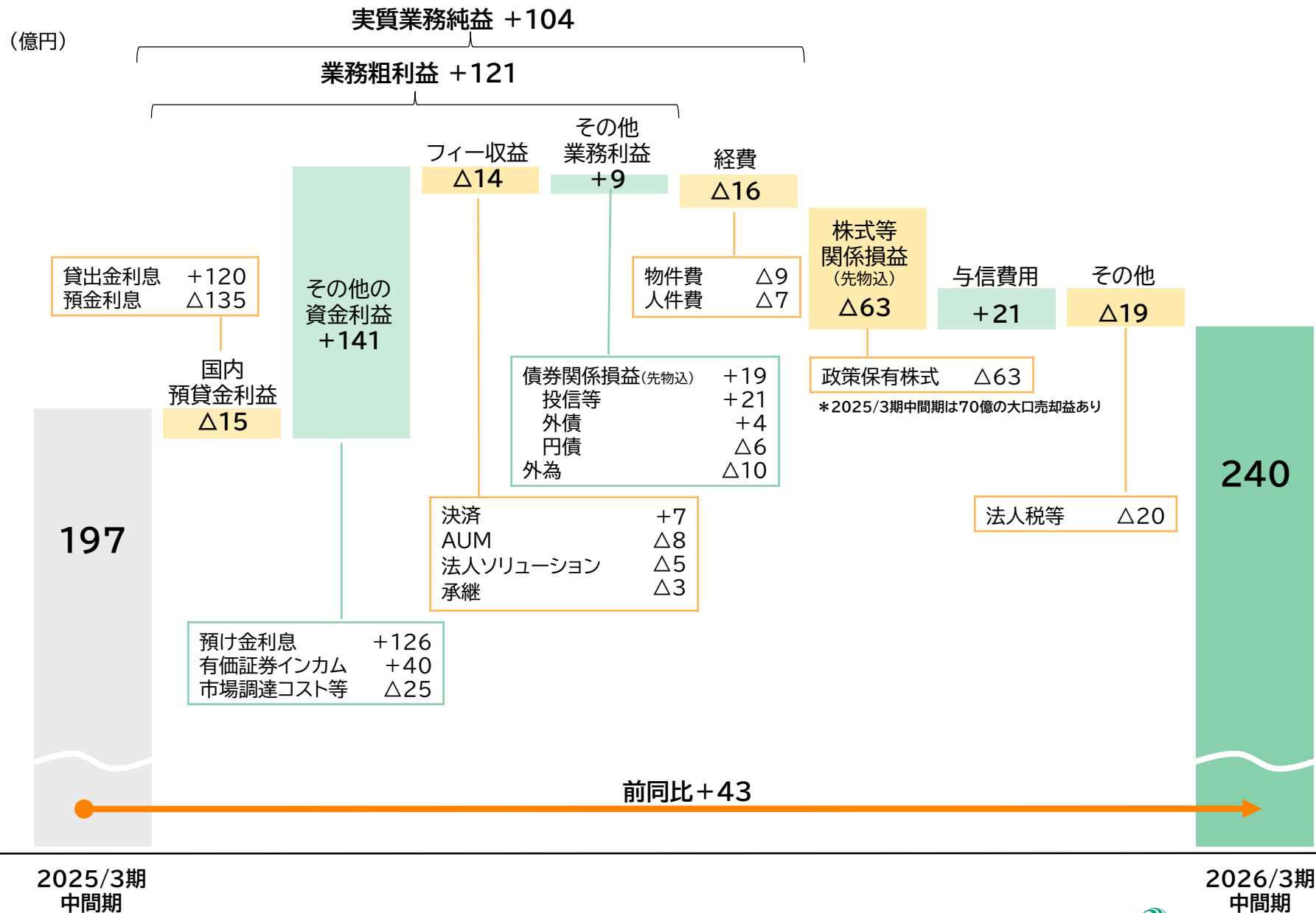
自己資本比率は健全な水準を維持：15.73%

単体(億円)		中間期実績 (a)	前同比 (b)	増減率 (c)	通期目標*1 比進捗率 (d)
業務粗利益	(1)	733	+121	+19.9%	51.0%
資金利益	(2)	568	+126		
うち国内預貸金利益*3	(3)	307	△15		
うち投資信託解約損益	(4)	-	-		
フィー収益	(5)	157	△14		
信託報酬	(6)	0	△0		
役務取引等利益	(7)	157	△14		
その他業務利益	(8)	7	+9		
うち債券関係損益(先物込)	(9)	1	+19		
経費	(10)	△420	△16	△4.1%	48.9%
経費率	(11)	57.4%	△8.6%		
実質業務純益	(12)	312	+104	+50.6%	54.2%
コア業務純益*2	(13)	310	+84	+37.4%	
コア収益*4	(14)	114	△28	△19.9%	
株式等関係損益(先物込)	(15)	22	△63		45.2%
与信費用	(16)	13	+21		-
その他の臨時・特別損益	(17)	△7	+1		
税引前当期(中間)純利益	(18)	340	+64	+23.1%	61.8%
法人税等合計	(19)	△99	△20		
当期(中間)純利益	(20)	240	+43	+21.7%	62.5%
連結*5(億円)					
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	(21)	240	+42	+21.7%	62.5%

*1. 2025年5月13日公表業績目標 *2. 投資信託解約損益を除くコア業務純益(実質業務純益-債券関係損益(現物)) *3. 譲渡性預金を含む

*4. 国内預貸金利益+円債利息等(円債利息・金利スワップ収益)+フィー収益+経費 *5. 連結対象子会社：(株)地域デザインラボさいたま

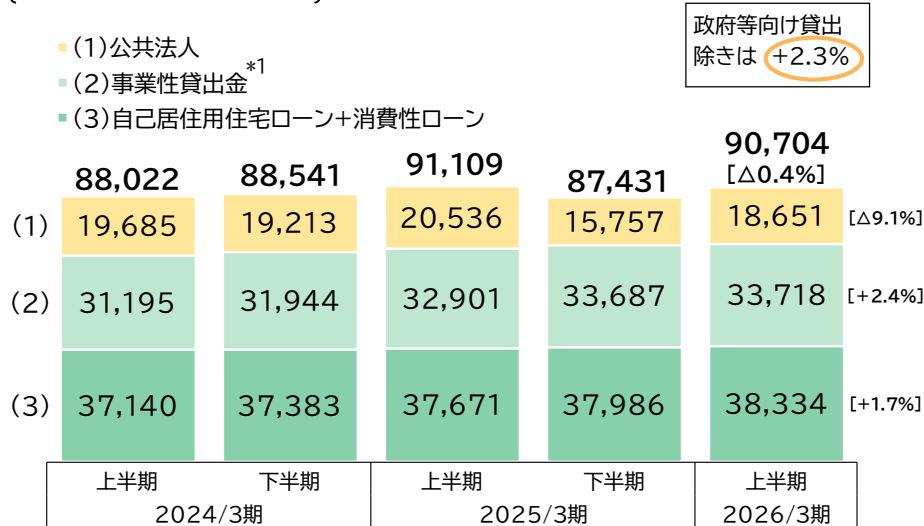
中間純利益の前同比増減要因



預貸金残高・利回り

貸出金平残(全店)

〔億円、[]内は前同比増減率〕



*1. 中堅・中小企業、個人事業主、アパートマンションローン等 *2 内訳は社内管理計数

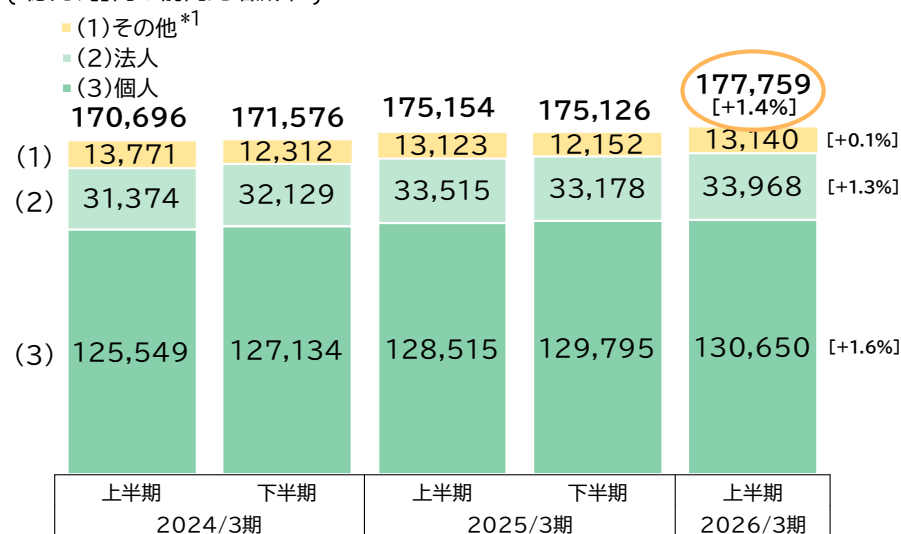
預貸金利回り(国内)

(%)		2023年度		2024年度		2025年度
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
貸出金利回り	(1)	0.74	0.75	0.76	0.89	1.03
前同比	(2)	△ 0.05	△ 0.01	+ 0.01	+ 0.14	+ 0.26
預金利回り ^{*1}	(3)	0.00	0.00	0.02	0.09	0.18
前同比	(4)	△ 0.00	△ 0.00	+ 0.02	+ 0.09	+ 0.15
預貸金利回り差	(5)	0.74	0.74	0.73	0.79	0.85
前同比	(6)	△ 0.05	△ 0.01	△ 0.01	+ 0.04	+ 0.11

*1. 譲渡性預金を含む

預金平残(全店)

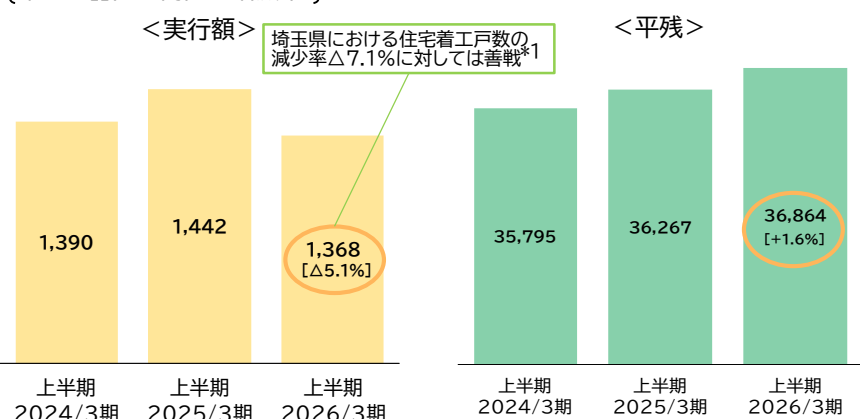
〔億円、[]内は前同比増減率〕



*1. 譲渡性預金を含む *2. 内訳は社内管理計数

自己居住用住宅ローン実行額・平残

〔億円、[]内は前同比増減率〕



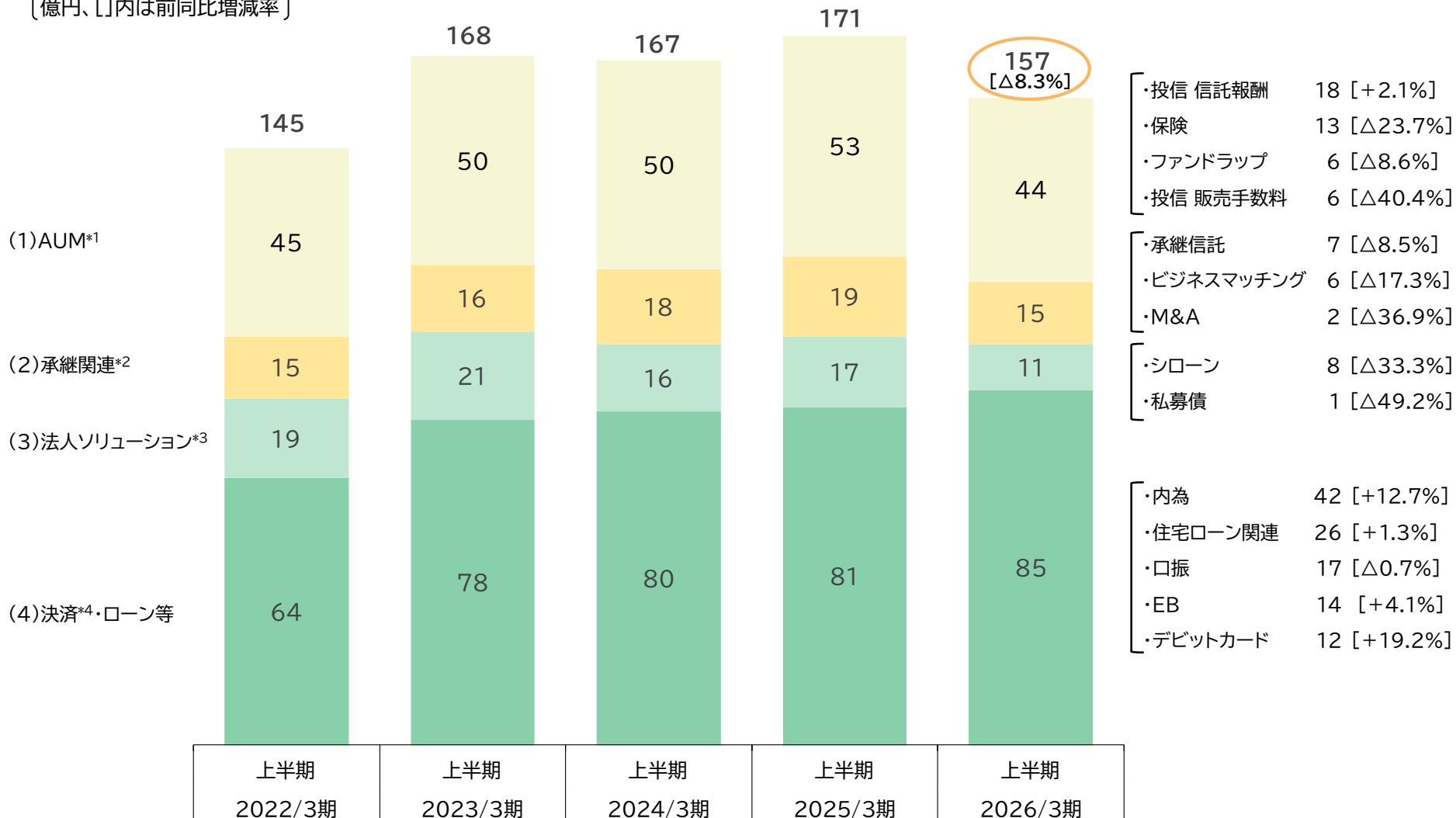
*1. 国土交通省・建築着工統計調査の埼玉県のデータ(賃貸住宅除く)をもとに、2025/4～8における前同比の減少率を算出



フィー収益

➤ 決済が伸長も、米国関税等によるマーケット影響を主因にフィー収益は減益

〔億円、[]内は前同比増減率〕



*1. 投資信託(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、保険の役務利益 *2. 承継信託、ビジネスマッチング、M&A

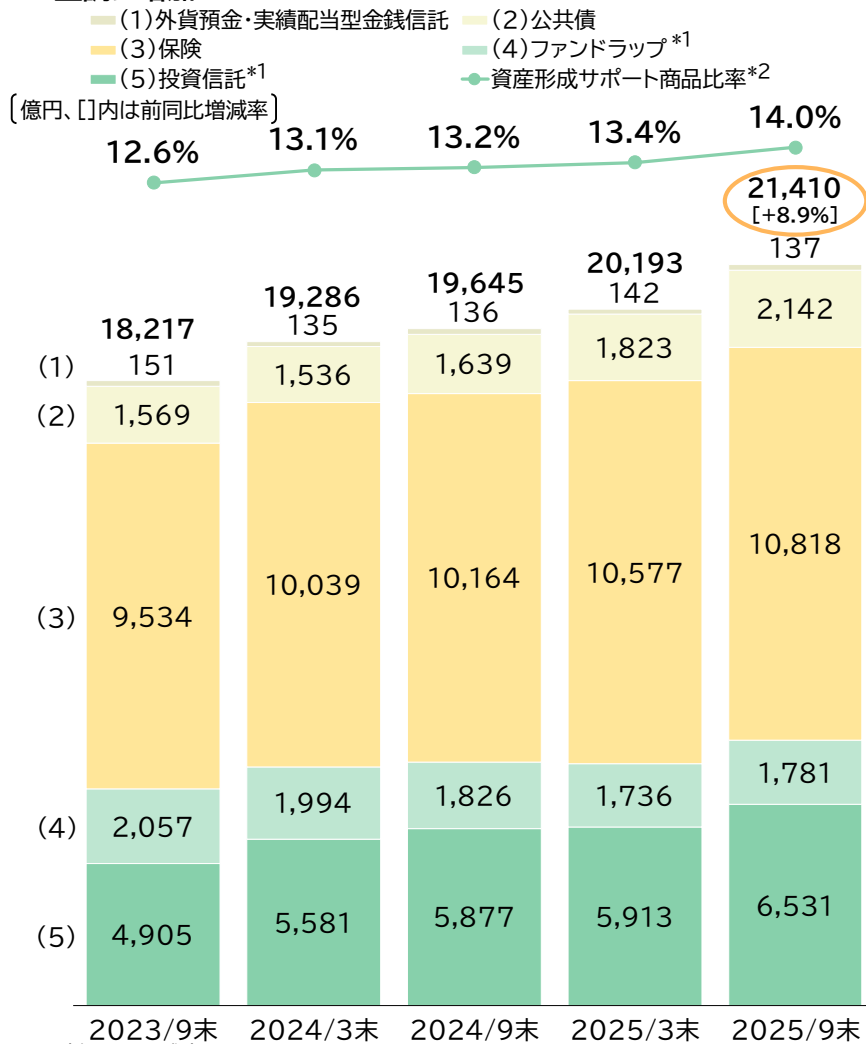
*3. シローン、私募債、コミット、コペナンツ、一般貸出関連 *4. デビット、内為、EB、口振、リそなキャッシュレス・プラットフォームの役務利益 *5. 内訳は社内管理計数



個人向け資産形成サポート

商品残高

➤ 保険・投資信託が伸長し、個人向け資産形成サポート商品残高は堅調に増加



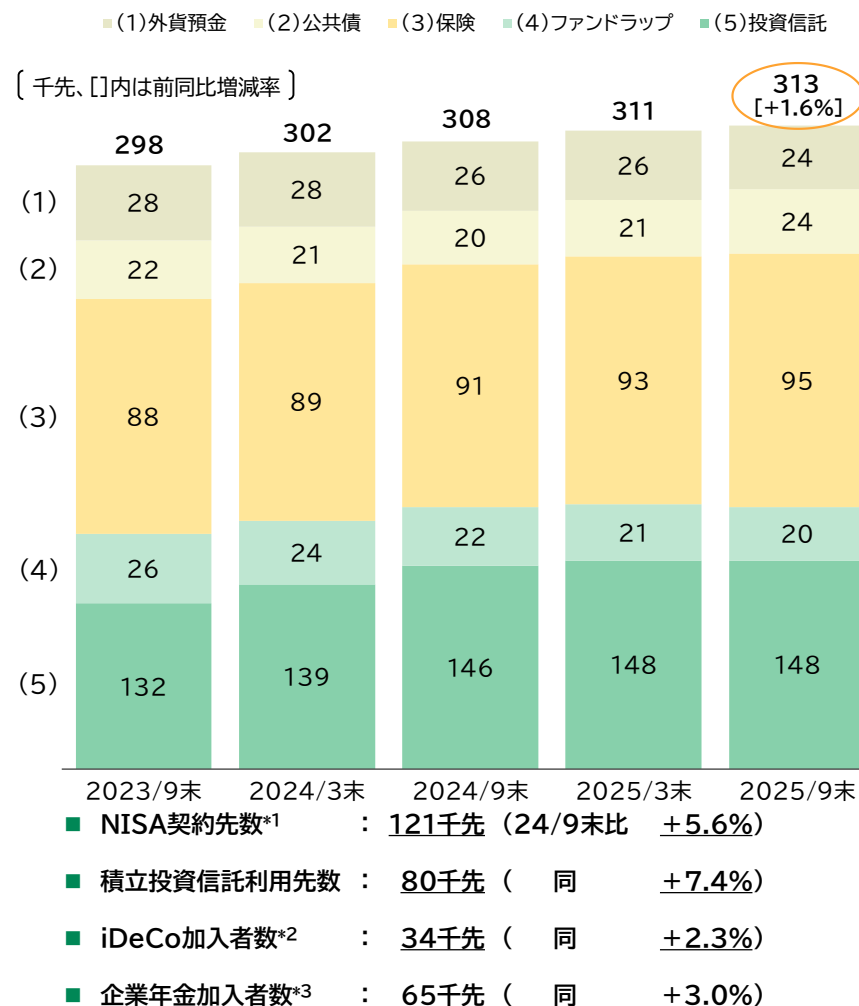
*1. 時価ベース残高

*2. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))

*3. 内訳は社内管理計数

商品利用先数

➤ 個人向け資産形成サポート商品利用先数は堅調に増加



*1. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *2. iDeCo加入者 + 運用指図者

*3. 確定給付企業年金加入者数(りそな銀行幹事分) + 企業型確定拠出年金加入者数

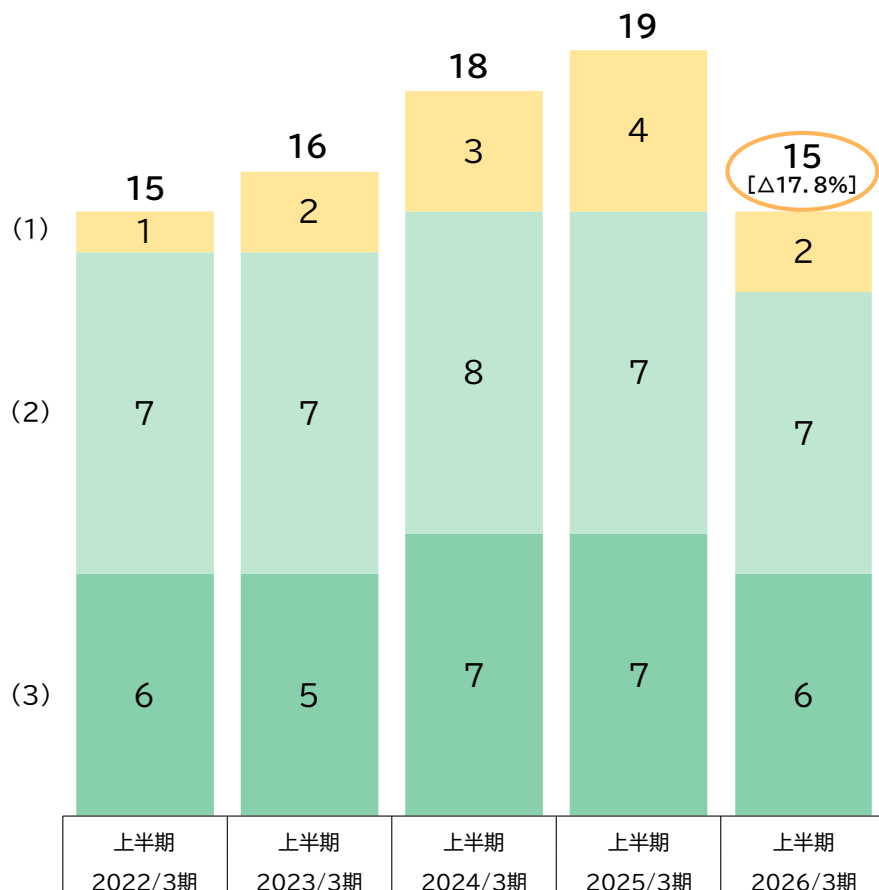
承継

承継関連収益

➤ M&A・ビジネスマッチングは減少も、承継信託は前期水準を維持

■ (1) M&A ■ (2) 承継信託^{*1} ■ (3) ビジネスマッチング

〔億円、[]内は前同増減率〕



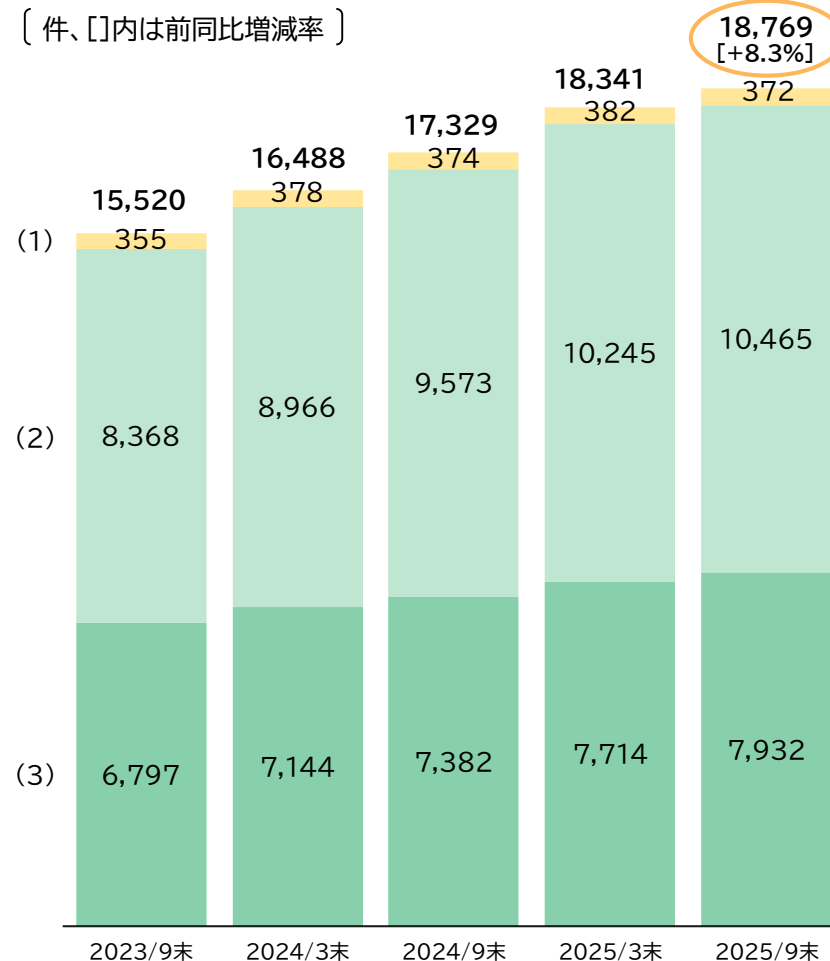
*1. 遺言信託、遺産整理、自社株承継信託、マイトラスト、ハートトラスト、合同金銭信託運用益
*2. 内訳は社内管理計数

資産承継ストック件数

➤ 承継ニーズの高まりを捉え、資産承継ストック件数は増加

■ (1) 自社株承継信託 ■ (2) 資産承継信託^{*1} ■ (3) 遺言信託

〔件、[]内は前同増減率〕



*1. マイトラスト、ハートトラスト

与信費用、不良債権

与信費用

➤ 経営改善支援の取組みが奏功

(億円)	2024/3期 (a)	2025/3期		2026/3期	
		中間期 (b)	(c)	中間期 (d)	計画 (e)
与信費用 (1)	△37	△8	△18	13	△55
一般貸倒引当金 (2)	△16	33	28	17	
個別貸倒引当金等 (3)	△21	△41	△47	△4	
新規発生 (4)	△48	△21	△42	△12	
回収・上方遷移等 (5)	26	△20	△4	8	
(bps)					
与信費用比率*2 (6)	△ 4.1	△ 0.9	△ 2.0	1.4	△ 6.1

*1. 正の値は戻入を表す

*2. 与信費用／金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

経営改善支援

➤ 2020年8月、本部内に営業店支援グループ新設 経営改善支援の取組みは着実に進捗

(先)	2024/9末 (a)	2025/3末 (b)	2025/9末 (c)	2024/9末比 (d)
延べ経営改善数*1 (1)	482	542	570	+88

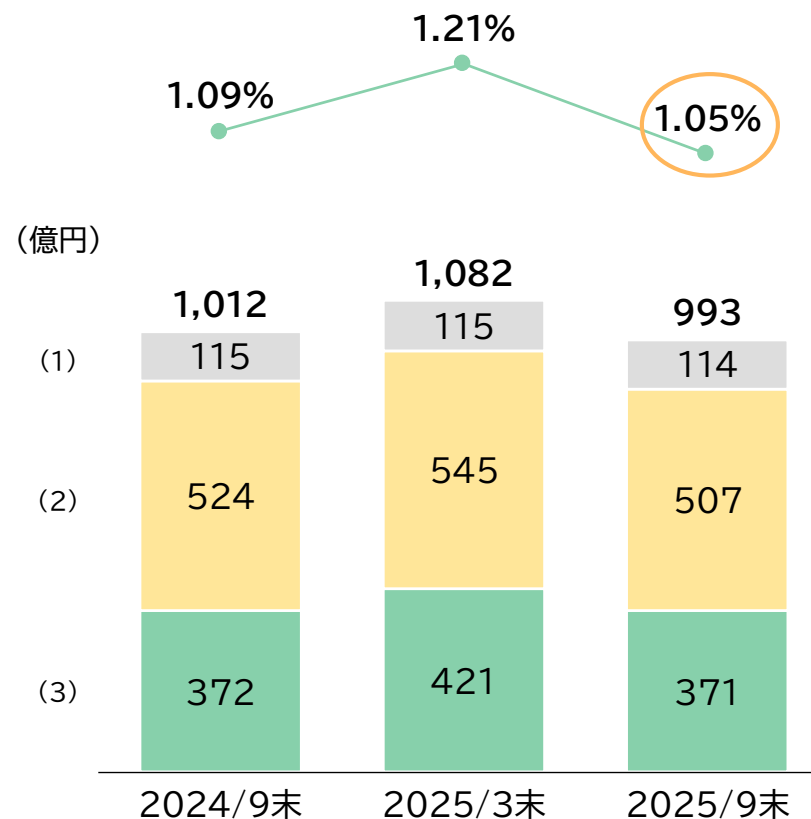
*1. ランクアップ等

不良債権残高・比率の推移

➤ 地域への更なるリスクテイクに取組みつつ、不良債権比率は低位推移

(金融再生法基準)

- (1)破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- (2)危険債権
- (3)要管理債権
- 不良債権比率



有価証券、自己資本比率

有価証券

- 環境変化を捉えた有価証券運用は着実に進展。株式を除く評価差額は期間損益*3と同水準であり、健全性を維持

(億円)	2024/3末 (a)	2025/3末 (b)	2025/9末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券*1 (1)	9,469	14,557	15,659	615
株式 (2)	451	348	313	871
債券*2 (3)	6,154	10,734	11,386	△ 359
国債 (4)	1,513	6,541	7,499	△ 215
(デュレーション) (5)	9.0年	5.7年	5.0年	-
(BPV) (6)	△ 0.9	△ 3.3	△ 3.2	-
地方債・社債 (7)	4,640	4,193	3,886	△ 144
その他 (8)	2,864	3,474	3,959	104
外国債券 (9)	1,992	2,373	2,785	△ 11
(デュレーション) (10)	5.5年	5.2年	4.3年	-
(BPV) (11)	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	-
国内投信等 (12)	871	1,100	1,173	116
(評価差額) (13)	880	336	615	
(株式を除く評価差額) (14)	△ 205	△ 430	△ 255	
満期保有債券 (15)	16,430	17,335	17,755	

*1. 取得原価、市場価格のない株式等及び組合出資金を除く

*2. ヘッジ考慮後の計数

*3. 2025年9月末時点

自己資本比率(国内基準)

- 自己資本比率は健全な水準を維持

(億円)	2025/3末 (a)	2025/9末 (b)	2025/3末比 (c)
自己資本比率*1 (1)	15.55%	15.73%	+0.18%

自己資本の額 (2)	3,761	3,881	+119
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	3,993	4,093	+100
コア資本に係る調整項目の額 (4)	△231	△212	+19

リスク・アセット (5)	24,177	24,659	+482
信用リスク (6)	21,545	21,731	+186
マーケット・リスク (7)	377	459	+81
オペレーショナル・リスク (8)	1,431	1,511	+80
フロア調整額 (9)	823	956	+133

*1. 単体・経過措置

*2. 連結自己資本比率(経過措置):15.74%、同(完全実施):11.46%

サステナビリティ

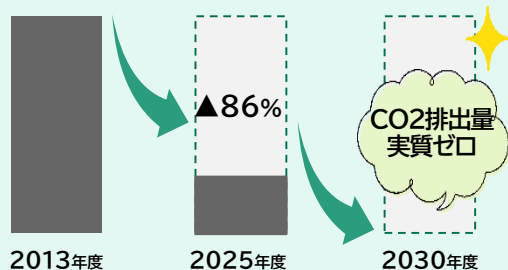
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速

環境



カーボンニュートラルの取り組み

- ◆太陽光発電設備やEV車、ガスカーボンオフセット導入を通じ、計画を上回る進捗



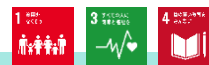
- ◆地域新電力への切替えも進捗し、再エネの地産地消は進展

サーキュラーエコノミーの実現

- ◆専門企業16社と提携し「空き家まるごと解決システム」提供開始
- ◆埼玉県ネイチャーポジティブ推進分科会に参画し、「ムサシトミヨ」の保全活動実施



地域共助



共生社会の広がり

- ◆「りそな YOUTH BASE 浦和」での子ども食堂活用開始等、地域共創空間の活用拡大
- ◆りそなコエドテラスにて聴覚障がい者の方々とともに手話カフェ、デフリンピック壮行会を開催



金融教育の多様化

- ◆セミオーダーメイドでSDGsやキャリア教育等の授業を追加し、金融教育の幅を拡大
- ◆金融犯罪防止の意識醸成に向け、県や地元警察と連携したセミナー等実施

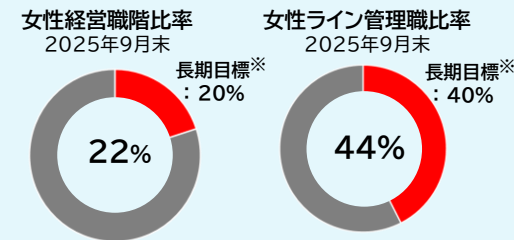


ダイバーシティ&インクルージョン



多様な人財の活躍

- ◆「女性支店長トレーニー制度」拡充により女性経営職階の挑戦を支援



※サステナビリティ長期目標、2030年度に目指す水準

- ◆越境先拡充により、外部知見を備えた新規越境者数は106名に倍増

仕事と育児の両立

- ◆各地域のお客さまと合同で「異業種ママ従業員交流会」をエリア拡充し開催
- ◆性別に関係なく育児に向き合う風土醸成に向けた「子育てセミナー」開催



ラボたま



- ・ 設立4年を経過し、新領域への挑戦と既存領域の深掘りを進め、累計560件の案件にアプローチ
90件の実績

ラボたまの実績 90件の内訳と事例

文化財 利活用

次頁を
ご覧ください!



観光関連 計6件

周遊型謎解きツアーを企画

地元観光協会・大学と地域の魅力発信強化

飯能 × 三島由紀夫「美しい星」× 謎解き
「消えた小説家と5つの句」
(2026年3月まで開催)

空き家 対策

計10件

地域 DX

計2件

公共 施設 マネジメント

計13件

まちづくり 計21件

河川 利活用

計9件

ふる さと納税

計5件

その他

計12件



志木チャレンジショップオープン支援 市街地活性化を後押し

HP



Instagram



LABTAMA.OFFICIAL

日々の活動を配信中♪

産業創出 支援 計11件



未踏人材育成支援事業

「AKATSUKIプロジェクト」に 埼玉県内で初採択

審査を通過した9つのアイデアについて、埼玉県内企業等の提示テーマに基づき、実証実験実施中



りそな コエドテラス

2024年5月開業以来、“埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点”を目指し、産業創出や埼玉県のブランディング、賑わい創出に挑戦しています



来館者数
約30万人

ナイトタイム
利用者
約1.5万人

イベント
開催件数
124件

メディア
掲載件数
145件

Resona
Kawagoe
Base+会員数
215先

地域課題であるナイトタイム
エコノミーに貢献

週2回程度、産業創出や賑わい創出
に向けたイベントを開催



主な取組み内容



01

- 産業創出事業
(1F/3F)
- 埼玉起業人発掘プロジェクト開催、
- 渋沢MIX等のインキュベーション施設と連携・相互利用拡大



02

- ブランディング事業
(1F/2F)
- 埼玉や川越の魅力、農と食、文化芸術
- 地域活動のブランド発信・PR実施



03

- 賑わい創出事業
(屋外スペース・2F)
- 手話カフェ、デフリンピック壮行会、
- 夏祭り等、多彩なイベントを開催



中期経営計画の進捗

『価値の良い流れを創り出す』共創社会のハブへと進化する3年間

安心で豊かな社会の実現

事業・暮らしの安心
金融リテラシー向上
安心・安全な金融インフラ



金融教育受講者数
21千人
積立投信利用先数
75千人

金融教育受講者数
53千人(+152%)
積立投信利用先数
80千人(+7%)

持続的な成長への貢献

挑戦への伴走
変化への対応
次世代への発展的承継



決済関連収益^{*3}
94億円
資産承継ストック件数^{*4}
17千件

決済関連収益^{*3}
98億円(+4%)
資産承継ストック件数^{*4}
18千件(+8%)

魅力ある埼玉の創造

地域課題の解決
人・企業の流入
誰もが輝く社会



地域課題解決件数
114件
RTF実行額^{*5}
7,125億円

地域課題解決件数
212件(+86%)
RTF実行額^{*5}
10,313億円(+45%)

- 「暮らしコンシェルジュ」相談は上半期約1.2万件と昨年度年間件数を超え、こまごまとへの対応加速
- 1,200名超の「価格転嫁サポーター」に改正下請法等の勉強会実施。価格交渉サポート力を強化
- iDeCoの給付金受取手数料を国内で初めて^{*6}「無料化」。税制メリット活用した運用継続をサポート
- トリックアート活用やラジオCM/漫画等、増加する特殊詐欺被害抑制に貢献

- CSR私募債に「渋沢MIXコース」追加。手数料の一部を渋沢MIXに寄付し、起業家を支援
- 埼玉医師会、埼玉県医師信用組合と医業包括連携協定締結。県内医療体制の維持・発展を支援
- グループアプリforビジネス利用先数は5.4千先へ拡大(前同比+102%)
- デジタルガレージと連携し、取引先の業務効率化やDX支援、決済ソリューションの提供強化

- キッズマネーアカデミー^{*7}では、プロスポーツ団体や地元企業等と協働し、子どもたちの学びを後押し
- 県内の醸造所が地産クラフトビールを販売するビールフェス開催。地産地消の取組みをサポート
- CO2排出量の簡易算出ツール公開。キャッシュレス決済推進によるCO2削減を後押し
- フードドライブの寄贈数は累計4万点突破。取組みはグループ関連会社へ波及

*1. 計数は2024/9末時点と2025/9末時点の比較であり、社内管理計数を使用。()内は2024/9末比増減率 *2. 決済関連収益を除き、累積値を記載
*3. 内為、外為、EB、口座振替、デビット、りそなキャッシュレス・プラットフォーム *4. 自社株承継信託、資産承継信託(マイトラスト、ハートトラスト)、遺言信託
*5. リテール・トランジション・ファイナンス *6. りそなグループ調べ *7. 2025年度で20周年

(ご参考)貸出金・預金末残の推移

(億円、%)		2023/9末	2024/3末	2024/9末	2025/3末	2025/9末	2025/3末比	2024/9末比	増減率
		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
貸出金	(1)	88,251	89,788	91,217	87,519	93,049	+5,529	+1,831	+2.0%
(政府等向け貸出除き)	(2)	(77,322)	(79,162)	(80,048)	(81,303)	(82,023)	(+719)	(+1,974)	(+2.4%)
中小企業等向け貸出金	(3)	64,862	65,582	66,155	67,181	66,915	△265	+760	+1.1%
同比率	(4)	73.4%	73.0%	72.5%	76.7%	71.9%	△4.8%	△0.6%	
消費者ローン	(5)	45,405	45,665	45,882	46,337	46,490	+152	+607	+1.3%
自己居住用住宅ローン	(6)	35,936	36,206	36,400	36,828	36,969	+140	+568	+1.5%
アパートマンションローン	(7)	8,106	8,074	8,059	8,056	8,031	△25	△27	△0.3%
消費性ローン	(8)	1,362	1,385	1,422	1,451	1,490	+38	+67	+4.7%
中小企業*1	(9)	19,456	19,916	20,272	20,843	20,425	△418	+152	+0.7%
埼玉県内貸出金	(10)	75,406	76,870	77,564	78,608	79,148	+540	+1,583	+2.0%
埼玉県内シェア*2	(11)	43.3%	43.6%	43.9%	44.0%	44.0%	+0.0%	+0.1%	
預金*3	(12)	170,502	174,189	174,174	177,835	176,117	△1,717	+1,942	+1.1%
流動性預金*4	(13)	134,889	138,931	137,475	141,451	138,628	△2,822	+1,153	+0.8%
定期・譲渡性預金等	(14)	35,613	35,257	36,699	36,383	37,488	+1,104	+789	+2.1%
国内個人預金	(15)	126,290	127,813	128,855	129,900	130,964	+1,064	+2,108	+1.6%
同比率	(16)	74.0%	73.3%	73.9%	73.0%	74.3%	+1.3%	+0.3%	
国内法人預金	(17)	33,085	34,146	34,150	34,976	34,613	△362	+463	+1.3%
埼玉県内預金*3	(18)	169,238	172,949	172,321	176,117	174,367	△1,749	+2,046	+1.1%
埼玉県内シェア*2	(19)	45.8%	46.1%	46.0%	46.6%	46.2%	△0.3%	+0.2%	

*1. 中小企業等向け貸出金-消費者ローン *2. 国内銀行勘定ベース *3. 譲渡性預金を含む *4. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。